



高市総理大臣のインド訪問（概要）



令和8(2026)年7月
外務省南西アジア課

- 7月1日～3日の日程で高市総理大臣がインドのデリーを訪問。
- 2日に**歓迎行事、日印首脳会談、日印経済フォーラム**及びモディ首相主催**非公式夕食会**に出席。

1 日印首脳会談

少人数会合、拡大会合、署名式・共同記者発表及びモディ首相主催昼食会を実施。会談では、昨年8月の**今後10年に向けた日印共同ビジョン**の下、**戦略的方向性を共有する信頼のパートナーシップ**として以下の諸点を中心に関係を一層強化することで一致。

首脳レベルの成果文書3件（**首脳共同声明～共通の成長・繁栄・強靱性のための戦略的方向性を共有する信頼のパートナーシップ、経済安保協力に関する共同宣言、AI協力に関する共同声明**）、政府間等の文書**約20件**を発表。

<現下の国際情勢を踏まえた日印の戦略的協力関係の深化>

- ◆ 両首脳は、**進化版「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」**とインドの**「MAHASAGAR（グローバルサウス・インド太平洋向け協力構想）」**が、インド太平洋を自由と繁栄を享受する豊かな海として育てていくという目的において軌を一にするものであり、**FOIP実現に向けた連携**を進めることを確認し、その新たな取組として**日印比3か国トラック1.5対話の立上げ**で一致。
- ◆ インド洋等における訓練・演習の深化、艦艇整備協力、防衛装備協力の推進等、**海洋安全保障分野**を中心とした協力を深めていくことで一致。艦艇搭載用複合通信空中線（ユニコーン）の移転に向けた**民間企業間協力文書の大枠合意**を歓迎。次回**日印「2 + 2」の年内開催**を指示。

<経済安保・エネルギー安保分野での日印協力の推進>

- ◆ 両首脳は、半導体、重要鉱物、ICT、クリーンエネルギー、医薬品の5分野での協力の道筋を示す**「経済安全保障協力に関する日印共同宣言」**を発出。エネルギー安全保障では「パワー・アジア」の下、原油・石油製品備蓄強化に向けた二国間対話の立上げやインドのIEA参加の後押し、インドのバイオガスパラント整備の目標に日印で協力する**「日印CBGイニシアティブ」**の立上げで一致。

1 日印首脳会談（続き）

<投資・イノベーション協業を通じた日印両国の経済成長の共創>

- ◆ 両首脳は、「**AI分野における協力に関する共同声明**」を歓迎し、先端技術分野を含む日本企業のインド進出や産官学連携を通じたイノベーション協業の促進で一致。ムンバイ・アーメダバード高速鉄道事業ではE10系新幹線の導入に向け協力を継続。**次世代モビリティ・パートナーシップ**に関する協力文書を歓迎。
- ◆ 両首脳は、昨年設定した**対印民間投資10兆円目標**のうち**既に2兆円規模の投資**が行われたこと、今回の訪問に約200社の日本の企業関係者が参加し129件の協力文書が発表されたことに体现される両国の経済関係の深化を歓迎。高市総理から、ビジネス環境整備に関しモディ首相主導の取組を要請。

<地域・国際情勢>

- ◆ 中国をめぐる諸問題を含むインド太平洋地域情勢、中東情勢等について意見交換。ホルムズ海峡における**自由で安全な航行の確保を含む中東地域全体の安定**に向け戦略的連携を深めていくことで一致。
- ◆ **日米豪印（クワッド）の実践的な協力**を進めていくことで一致するとともに、**次回首脳会合の早期開催**に向けて協力することを確認。

<国交樹立75周年>

- ◆ 2027年の**日印国交樹立75周年**に向け、記念行事や地方自治体間交流を通じ、国民間の交流を深めていくことで一致、マンガ、アニメ、ゲーム等の交流を深めていくことについても意見交換。

2 日印経済フォーラム

モディ首相も出席し、**日本企業約200社**が参加。スズキ株式会社が「カルコダ工場開所式」を実施。今次訪問を機に取り交わされた両国企業間等の覚書**129件**を発表、**2兆円規模の事業機会を創出**。

3 モディ首相主催非公式夕食会

両首脳は、日印関係や国際情勢、両国の文化等幅広く意見交換を行い、**個人的な信頼関係**を深めた。

4 現地での様子



歓迎式典



日印首脳会談



車中にて懇談



非公式夕食会